

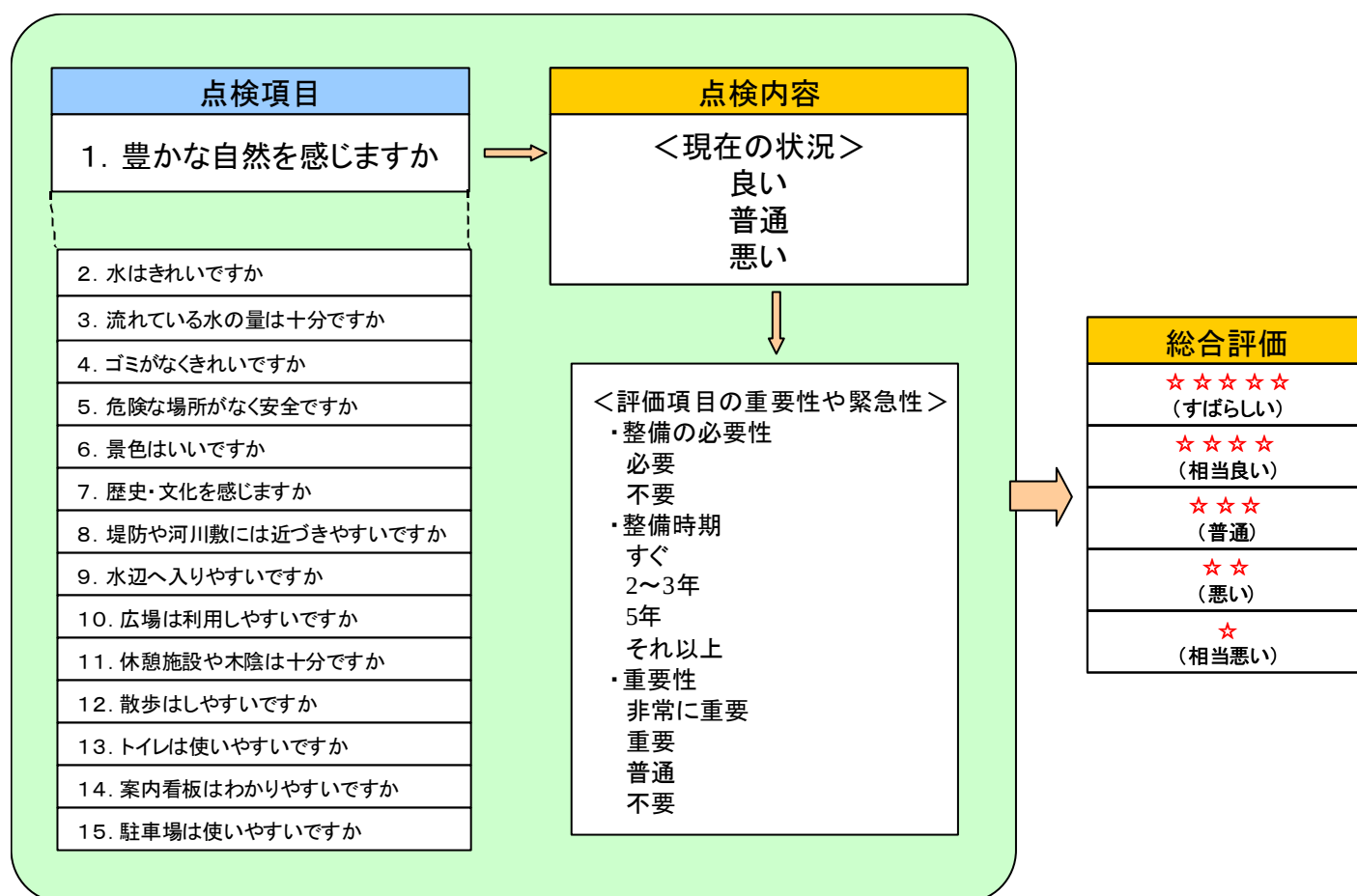
「川の通信簿」について

目 的

- 河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において 市民と共同 でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握 し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図ります。

点検内容

- 15 の点検項目があり、箇所毎にそれらの重要度、良い悪いなどの状態、整備の必要性を点検し、最後に 5 段階評価を行います。



(注意) この通信簿は、点検者が主観的に評価するものであり、川の優劣をつけるものではありません。

成果の活かし方

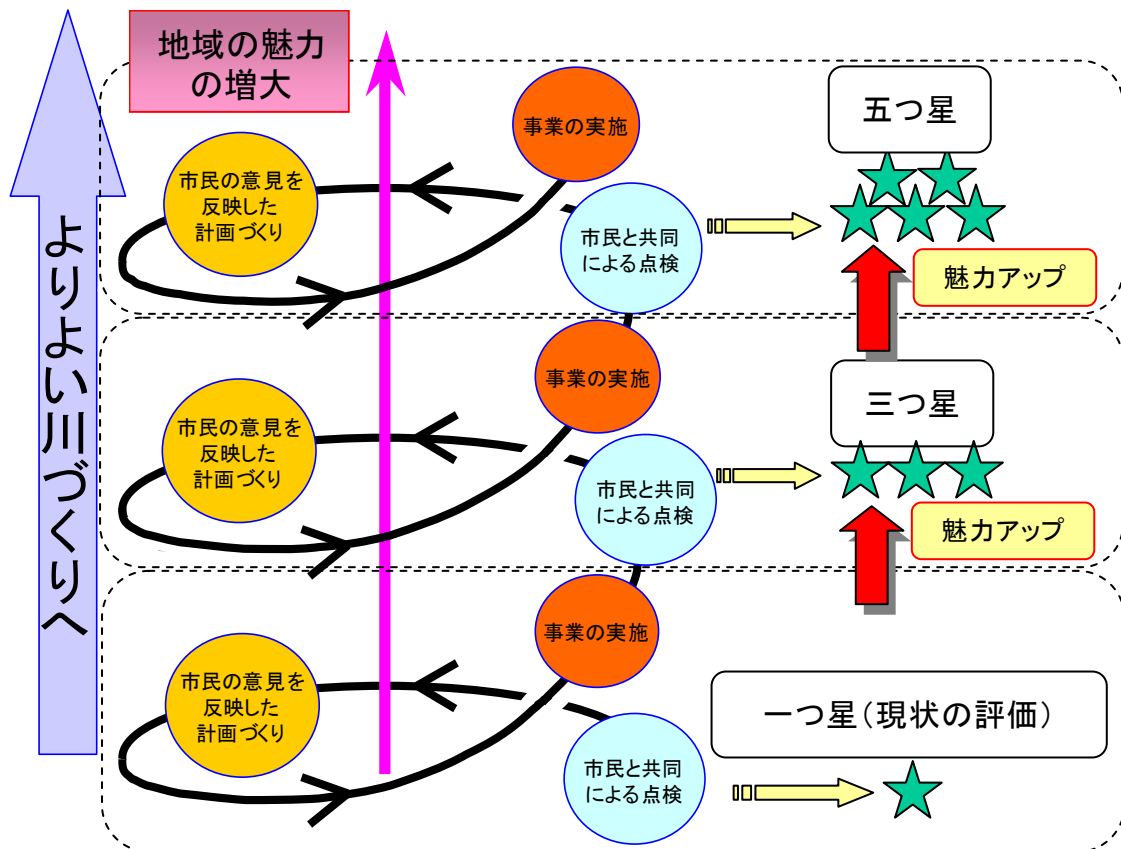
- 市民と行政が良い点・悪い点の情報を共有し、今後のいい川づくりに活かします。

→今後の河川整備メニューの抽出など

- 川の有する魅力ある点をPRし、河川愛護の普及や環境学習、観光振興等に活かします。

→魅力ある河川空間マップの作成など

「川の通信簿」によるよりよい川づくりへのイメージ



H18 東北管内「川の通信簿」による点検実施河川

実施日

- 平成 18 年 7 月末～ 8 月（予定）

実施水系

整備局名	実施水系名	箇所数
東北 12 水系	岩木川（8 箇所）、馬淵川（1 箇所）、高瀬川（3 箇所）、北上川（19 箇所）、名取川（2 箇所）、阿武隈川（7 箇所）、鳴瀬川（2 箇所）、子吉川（5 箇所）、雄物川（10 箇所）、米代川（8 箇所）、最上川（30 箇所）、赤川（3 箇所）	計 98 箇所 （30 河川）

※参考：全国では 109 水系、230 河川、682 箇所